



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成29年1月

謹んで新年のお祝いを申し上げます



阿蘇山初日の出(北外輪山から撮影)

■今号16ページ 主な内容

- 原山寅雄組合長「新年のご挨拶」
- 生産各部会の総会・出荷査定会・生育状況
- 地域と共に開催「まるごと阿蘇ウォーキング」「小国郷収穫感謝祭」
- 盛り上がった「わんぱく野球」
「年金ゴルフ・グラウンドゴルフ・ゲートボール大会」など話題を満載!!



●▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

新年のご挨拶

阿蘇の大自然と共存共栄しながら 組合員の皆様と一緒に繁栄できる新年に



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 原山 寅雄

新年、明けまして、おめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

当組合の事業運営につきましては、日頃から格別なるご協力とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、突然の熊本地震にみまわれ、さらには大雨、阿蘇山の噴火など自然災害の恐ろしさを痛感させられる一年となり、被害を受けた方々は、この災害を乗り越えようと必死に立ち上がり、家屋、道路、農地の復旧が急ピッチで進められている状況であります。一日も早い復旧・復興をお祈りいたしますとともに、被災に遭われました組合員の皆様には心からお見舞い申し上げます。また「我々阿蘇に住む者にとり、この大自然と共存共栄しながら組合員皆様と一緒に繁栄できますよう努力いたしてまいります」

このような中、阿蘇地域における農業経営を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化、配合飼料等の生産資材価格の高止まりによる農業所得の減少など、依然として厳しい状況下にあります。

一方、皆様もご承知の通り、農政課題であるTPP交渉について一貫して断固反対を訴え、JAグループと一体となり交渉に関する情報開示及び国民的議論を求めると共に、強力な要請活動を行ってまいりましたが、残念ながら参議院で審議入りとなりましたが今後、米国の対応で状況が変化する可能性もあります。

さらに、農協改革につきましては、現場を踏まえたJAグループの自己改革案に基づいた改革が行われるよう要請活動を行ってきた結果、平成28年4月より改正農協法が施行され、今後も引き続き現場の実態を踏まえた改正農協法への対応やJAグループとしての自己改革、特に「農業所得アップ運動」や「地域の活性化」の確実な実践が求められており、JAが抱える諸課題についても取り組みの強化を図ります。今後の国の動向に注視しながら組合員、利用者、地域の皆様と一丸となり取り組んでまいりたいと思いますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

このような情勢の中、当JAでは第15回通常総代会に於いて「JA阿蘇活動総合3ヶ年計画」の議案が承認され、重点実施事項の達成に向け全力で取り組み、地域経済社会への貢献と経営改革を進め、地域に根ざした事業を展開するとともに、コンプライアンス基本方針に基づく経営体制の充実を図ります。結びに、迎えた本年が皆様にとって、さらに地域にとっても明るく輝かしい一年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

第5回まるごと阿蘇ウォーキング2016

秋晴れの下、今回は「復興応援チャリティー」として開催 爽やかな阿蘇路を約140人が歩く！

JA阿蘇は10月30日、第5回まるごと阿蘇ウォーキング2016を開催しました。秋晴れの下、県内外から約140人が参加して爽やかな阿蘇路を散策しました。同ウォーキングには5kmを歩く阿蘇神社コースと、10kmを歩く国造神社コースの2コースが設けられ、スタート及びゴール地点となったJA阿蘇「四季彩いちのみや」会場では、産山村ひよっとこ踊り保存会の演舞やJA職員によるハロウィン仮装で大会を盛り上げていました。参加者らは「とても気持ち良い。天気も良くて絶好のウォーキング日和ですね」と、笑顔で語っていました。昼食には、JA女性部によるおにぎりとのっぺ汁、青壮年部による芋天が振る舞われました。ウォーキング大会のフィナーレとして、恒例のお楽しみ抽選会も行われました。参加者らは「また来年も参加したい」と一様に感想を語っていました。

絶好のウォーキング日和



お揃いの衣装で「ハイ、ピース！」



ウォーキングしながら、楽しいおしゃべりは一段と弾みます！



女性部は美味しい昼食でおもてなし



青壮年部は名物芋天でおもてなし



参加者を「ひよっとこ踊り」でおもてなし！



ドキドキ、ワクワク…「お楽しみ抽選会」



「阿蘇アスパラ」震災に負けず
数量・販売高前年を上回る
JA阿蘇アスパラ部会



「阿蘇アスパラ」は、平成28年9月下旬の取材時、2016年産アスパラ収穫の終盤戦へ突入しており、日量2t前後が出荷されていきました。前年のような朝晩の冷え込みが見られず、湿度も高いことが影響し、数量は前年同時期と比較して上回っています。

阿蘇アスパラは3月上旬より出荷開始となり、春芽のピーク時には日量10tを出荷していましたが熊本地震が直撃し、約10日余り共同選果ができないう状況が続きました。しかし、生産者が夏芽を見据えた栽培管理に努力したこともあり、また天候にも恵まれたことなどで出荷数量増加に繋がりました。販売高においては思うように単価が

伸びず、厳しい販売環境でしたが、数量増加に伴って販売高も前年を上回る結果となりました。

取材時、早朝から収穫作業を行っていた山部修部会長は「生産者一人一人の熱い思いがあったからこそ、震災に負けずに消費者へ美味しいアスパラを届けることができた」と安堵の表情で感想を語っていました。

指導担当の後藤真智職員は「次年度の春芽を考えて栽培管理を徹底してほしい」と話し、定期的な病害虫防除を呼び掛けています。

平成28年9月下旬での実績は、出荷数量638万3877束(前年比114%)、販売金額6億8113万3千円(同107%)となっています。(写真上) 収穫作業をする山部修部会長/平成28年9月28日撮影)

JA阿蘇アスパラ部会
JA福岡大城アスパラ部会訪れ
地震や降灰見舞いへのお礼をする

JA阿蘇アスパラ部会は10月28日、福岡県大川市のJA福岡大城アスパラ選果場を訪問し、同アスパラ部会から義援金を頂いたことへのお礼をしました。JA福岡大城アスパラ部会からの義援金は、熊本地震や阿蘇山噴火に伴う降灰など、度重なる自然災害に見舞

われた阿蘇アスパラ生産者のために贈られたものです。

当日は阿蘇アスパラ部会の役員ら10人が訪れ、山部部会長が「義援金、誠にありがとうございました。生産者のために役立たせて頂きました」とお礼の言葉を述べました。JA福岡大城アスパラ部会の田中伸幸副部会長からは「同じ九州の産地である同士が困っている時に助けるのは当然のこと。お互いにこれからも頑張っていきましょう」とエールを送りました。

阿蘇と福岡大城は十数年前より生産者間の交流が続けられており、今後もお互いに切磋琢磨しながら情報交換をしていくことなどを確認しました。



お礼を述べるJA阿蘇アスパラ部会の役員

他産地に負けぬ品質めざし、主産地から新たな技術学ぶ
=JA阿蘇アスパラ部会=



JA阿蘇アスパラ部会役員は10月27・28日、九州地区の先進地視察研修としてJA壱岐市とJA柳川を訪問しました。研修地では栽培管理や高収量生産者から管理ポイント等を学びました。同部会では例年、主産地や各農業研究センター等で研修を行い栽培技術などを学んでいます。

参加した部会役員らは「まだまだ土作りをしなくてはならない」とか、「今回の研修で学んだことを今後の管理に活用していきたい」などの感想が聞かれました。引率した営農指導係の後藤真智職員は「視察地においては、ハウ

※次ページに続く



※前ページより続く

スでの管理だけではなく、出荷した後
の品質管理も徹底されており、JA阿
蘇でもさらに品質管理の徹底にこだわ
つていきたい」と語っていました。
同部会では今後も県内外のアスパラ
主産地との情報交換など積極的に行っ
ていきたいとしています。(前ページ写真
＝JA吉岐市でアスパラ栽培のポイント
について学ぶ部会役員)

**義父との約束を守るために
品質にこだわったアスパラを栽培
南阿蘇村 藤尾 斉さん**

「農業を始めるきっかけは義父との
約束だった」と話すのは、アスパラガス
の栽培を行う藤尾斉さんだ。藤尾さん
は2012年、奥さんの実家である南阿
蘇村で農業を始めることを決意。



翌2013年6月、アスパラガスを15

a作付けして1年間の株養生期間を経
て、初めての収穫に向けて蒸し込み前
の準備をしていた矢先の2014年2
月、記録的な豪雪により全てのハウス
が倒壊するという被害に見舞われまし
た。藤尾さんは倒壊したハウスを前に
「農業を始めたのは失敗だったかと後
悔した」と、当時の思いを語りました。
しかし、義父との約束だった「農業を継
ぐ」ということを思い出し、ハウスを立
て直し、春芽の収穫を諦めて立茎し、そ
の年の夏芽の収穫をすることができま
した。翌2015年には少しながらも
反収が増加しました。

2016年産は目標反収を3tとし
て、二からアスパラガスについて勉強を
し直した結果、何とか目標反収をクリ
アできることができ、15a面積を増やし
ましたが定植直後に熊本地震の影響で
水が出なくなり、新たな水源を確保す
るまでは自ら水を運び灌水作業を行
いました。

就農前は食材仲介業の営業担当だっ
た藤尾さんは、「今後は品質や味にこだ
わったアスパラガス栽培を目指してい
きたい」と抱負を語っていました。

(写真上＝効率的なアスパラガス栽培と
経営を目標に、新植株の生育を確認する
藤尾さん／平成28年9月28日撮影)

**年末に向け、切り花用「葉牡丹」生育良好
2016年産から初栽培＝蘇陽地区**



姿勢を見せていました。

また、販売担当の上田裕樹職員は
「植付け直後の雨対策など課題は多い
が、適切な対策を考えていきたい」と次
年度の作付けを見据えた動きを始め
ています。

2016年の出荷は、試験的な作付
けのため九州管内の市場に1万300
0本程度が予定(平成28年10月上旬の
取材時)されています。

(右写真＝生育状況を確認する職員／平
成28年10月4日撮影)

JA阿蘇蘇陽地区では平成28年10
月上旬の取材時、8月上旬に定植され
た切り花用の葉牡丹(品種は「晴姿」と
「初紅」)が、年末の需要期に向けて順調
に生育していました。同地区での葉牡
丹の栽培は2016年産が初めてとな
ります。

葉牡丹導入の経緯は、蘇陽地区の花
出荷市場である九州地区の市場関係者
から、「平坦地では気温が高く、思った
色合いが出ないため、高冷地の蘇陽地
区を産地作りには…」という意向
が示されたことから、作付けが開始さ
れました。

生産者の一人である蘇陽花卉部会の
渡辺保明部会長は「思った以上に手が
かからないため、来年も作付けしたい」
と、次年度への取り組みにも意欲的な



味・品質ともに 高評価の「秋メロン」 11月上旬まで出荷される



J A阿蘇白水メロン部会では、秋メロンの出荷が平成28年10月上旬より11月上旬まで行われました。期間中、日量100ケース(1ケース5kg)ほどが連日九州管内に出荷され、トータルでは約1500ケース程度が出荷されました。

同部会の秋メロンは品質・糖度ともに良好で、市場より高い評価を得ています。当年は気温が高く、ネットの張りが荒くなるなどが懸念されましたが、味も品質も例年に負けない出来となりました。しかし、近年では価格低迷などにより年々栽培面積と生産者が減少し、2016年産は作付面積40aで生産者一人となりました。

販売担当の後藤辰徳職員は「期待以上の大玉で、糖度・品質ともに例年に負けない出来で、美味しく安全・安心のメロンを消費者へ届けることが出来たのではないかと話していました。」

同部会ではポジティブリスト制度を遵守するとともに、消費者の手に渡っても生産者を特定できるように、生産者番号入りシールを1玉ずつ貼って出荷しています。(写真上)11月上旬まで出荷が行われた秋メロン)

生産者の選別意識向上を目的に 生しいたけ選別講習会



11月1日、生しいたけの出荷が本格的に始まるのを前にJ A阿蘇蘇陽集荷場では選別講習会が開かれ、生しいたけ生産者ら33人が参加しました。

同地区の生しいたけ生産者は原木栽培に取り組んでおり、阿蘇の気温差を生かして肉厚で美味しい生しいたけを生産し、高い市場評価を得ています。

秋口から出荷されている生しいたけは2年前に原木が駒が打ち込まれたも

小国紅「電子レンジでチン！」 すぐ食べられる手軽さ受ける 贈答用としても大人気

豊富な食物繊維とビタミンで、おやつに料理に夜食にと、栄養満点のヘルシーな食品であるJ A阿蘇小国郷甘藷部会の産地直送で人気のサツマイモ、小国紅「レンジでチン!」は、電子レンジでチンしてすぐ食べられる手軽さが受けています。原材料のサツマイモは高

ので、日量20〜50ケース(1ケース1kg入)程度の出荷となっており、11月中旬のピーク時には日量1000ケースにもなりました。

蘇陽生しいたけ部会では、原木栽培で生育されることが多くの消費者にも分かってもらえるようにと、出荷資材に「原木栽培」と記載をするようにしています。

当年は梅雨明け以降の高温が影響し出荷数量が伸び悩みましたが、今後は福岡を中心に5月まで約4万2000ケースの出荷を見込んでいます。

販売担当の甲斐亮太職員は「どの産地にも負けない肉厚と味に自信を持っている。阿蘇というブランドを生かした販売を今後もしていきたい」と意気込みを語っていました。



贈答にも大人気の「小国紅」

系14号という貯蔵に適した品種で9〜10月に収穫し、12月上旬より発送を開始しています。1箱にSサイズのサツマイモ2本入りが10袋入ったものから、2Lサイズ(1本入り)8袋入りまでの4種類があり、贈答用としても大変喜ばれています。

問い合わせ先 J A阿蘇営農部
小国郷地区園芸課(☎0967・46・3212、平日午前9時〜午後5時)



**阿蘇産いちご本格的に始動
販売高6億円を見込む
JA阿蘇いちご部会出荷査定会**



JA阿蘇いちご部会は11月15日、阿蘇市で生産者・行政・JA・市場関係者ら約70人が出席して2016年産いちご出荷査定会を開催しました。

当年度のJA阿蘇いちご部会の品種別生産においては、さがほのか10ha実績比105%、紅ほつぺ0.6ha(同50%)、ゆうべに1.37ha(同379.4%)を計画しており、生産者数47戸(同97%)で、販売高6億円(同128%増)を見込んでいます。

本年度はバックセンター施設増設により、アイテム出荷の要望に対応でき

るレギュラー詰め規格以外に取り組むことで、単価アップに繋がる販売を狙う方針です。

バックセンター施設増設に伴い、生産者の受け入れ態勢強化と1日当りのパック処理能力を向上させ、管内から同センターへの持ち込みを推進することで、品質の統一が図られ販売の強化がさらに向上することが見込まれています。

大津裕樹部会長は、「地震災害や天候不良、また阿蘇山噴火に見舞われましたが、生産者の皆様の努力により無事査定会が開催できました。この逆境を乗り越え、阿蘇いちごがさらなる飛躍となるよう、最後まで頑張りましょう。」と力強く挨拶しました。

営農部園芸課の江藤秀晃指導員は、「4月の熊本地震で前年度産の収量が落ちたが、本年度産については、温度管理・肥培管理・病害虫防除に重点をおき、シーズン最後まで収量品質を維持させ、例年以上の実績を残したい」とこれらの抱負を語っていました。

写真上2点＝出荷査定会場で展示されたいちごの規格とパック類や販促ツール／写真右2点＝バックセンターでの作業の様子



写真上2点＝出荷査定会場で展示されたいちごの規格とパック類や販促ツール／写真右2点＝バックセンターでの作業の様子

2017年に飛躍!

「ヒゴムラサキ名人」めざして
夢は、日本全国を旅すること
高森町 桐原勝幸・由紀乃夫妻



結婚して10年目の夫婦です。ヒゴムラサキ30aを栽培しています。
「夫婦円満の秘訣は、お互いに会話をしながら楽しく作業をしていることです。将来は、2人で日本全国を旅したいです」



写真は上から「開会式の鏡割り」、「賑わう会場の様子」、
「子供たちに大人気アンパンマンショー」

農産物販売や多彩なイベント 多くの来場者で賑わう

JA阿蘇小国郷収穫感謝祭

JA阿蘇小国郷中央支所では11月26日、同野菜集荷場で第16回収穫感謝祭が行われ、農産物販売のほか多彩なイベントが行われ約600人の来場者で賑わいました。

会場には、JA職員による各種バザ

ーや青壮年部・女性部・生産部会らによるカレー、焼肉コーナーなど多彩な出店が数多く設けられ、各店とも多くの来場者の列ができていました。

特設ステージでは「それいけ！アンパンマンショー」「猿回し」、女性部による「スコープ三味線」などが披露されました。

またイベントの最後には、豪華賞品が当たる福引大会が行われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。



JA阿蘇農畜産物販売会 熊本市びぶれす広場で開催



「地震、豪雨、中岳噴火…でも、私たちは負けません」と、JA阿蘇管内の農畜産物を一堂に揃えた「JA阿蘇農畜産物販売会」が、12月3日、熊本市中央区上通入口のびぶれす広場で開かれました。特設の販売コーナーには、阿蘇産の新鮮なキャベツ、ダイコン、ホウレン草、阿蘇コシヒカリ、ジャージー牛乳、ヨーグルトなどや、阿蘇各地域の特産品なども並べられ、多くの買い物客で賑わっていました。（写真Ⅱ次から次へと買い物客が押し寄せた販売会）



「JA阿蘇旗わんぱく野球大会」
一の宮マリンスズが6連覇に輝く!



JA阿蘇主催の「第10回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会」が10月15日、阿蘇市農村公園あびかグラウンドで開かれ、阿蘇郡市の小学校で構成する8チームが参加して熱戦を繰り広げました。

この大会は組合員・地域住民が住みなれた地域で、健康で安心して暮らせ

る豊かな地域社会・環境づくりに貢献するための社会貢献活動の一環として開催されているものです。

開会式では藤田常務が「皆さんが大会に向け練習されてきた成果を十分に発揮され、最後まで頑張ってください」とあいさつ。選手を代表して阿蘇ビクトリー主将の鶴林秀治君が、元気に選手宣誓を行いました。

試合は順調に行われ一の宮マリンスズと阿蘇ビクトリーとで熱戦が行われた結果、一の宮マリンスズが2対0で6年連続の優勝に輝きました。



写真上||開会式の様子
写真右||6連覇に輝いた一の宮マリンスズ

会員相互の健康増進を図り
親睦と融和を目的に
「JA阿蘇年金ゴルフ大会」



JA阿蘇は10月14日、「第2回年金ゴルフ大会」を阿蘇市のあつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部で行い、27人の選手が参加しました。

本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に今回で2回目の開催となります。開会式では主催者の藤田常務があいさつ。昨年度の優勝の工藤西男さんが始球式を行いプレーが開始されました。

競技方法はダブルペリアで行い、各ホールではスパーショットなどがあり、

選手たちは初秋の阿蘇で楽しい一日を過ごしました。

熱戦の結果、昨年度優勝者の工藤西男さん(高森)が2連覇を達成しました。上位入賞者8人は11月24日、あつまる宇土ゴルフ倶楽部で行われた県大会に出場しました。

阿蘇での成績(敬称略)は次のとおりです。▽優勝||工藤西男(高森)、準優勝||田上幸敏(高森)、3位||宇都宮信也(小国郷)▽グロスの部優勝||手嶋健治(小国郷)

(写真上||開会式の様子
写真左||上位入賞の選手の皆さん)





**J Aバンク熊本・年金友の会
親善グラウンドゴルフ大会
井福登さん、家入エツさん入賞**



表彰を受ける家入エツさん(左写真)と井福登さん

「第18回J Aバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が11月9日、八代市の八代運動公園で開かれ、県内J Aから504人が参加しました。この大会は熊本県内のJ A年金友の会組織の拡大を図るとともに、会員相

互の親善と融和を深める事を目的に毎年開催されています。

J A阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた45人が参加しました。試合はA・Bブロック4コートに分かれ行われ、各選手の皆さんは日頃の練習の成果を發揮し熱戦を繰り上げました。競技の結果、産山支部の井福登さんがAブロック8位、阿蘇町支部の家入エツさんがBブロック7位に入賞しました。

閉会式後のお楽しみ抽選会では、当選番号が発表されるたびに歓声が上がります。当選者は豪華賞品を手喜んでいました。

**年金友の会親善ゲートボール大会
17チーム92選手が参加
優勝は南阿蘇チーム**



坂梨選手の選手宣誓

J A阿蘇年金友の会は11月12日、阿蘇市のグラウンドで「年金友の会親善ゲートボール大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に行われています。

今年阿蘇管内から17チーム92人の会員が参加しました。開会式では選手を代表して今町3チームの坂梨清人選手が元気に選手宣誓を行いました。

各選手は秋晴れの中、日頃の練習の成果を發揮し熱戦を繰り上げ、選手の皆さんは楽しい一日を過ごしました。

競技の結果、優勝は南阿蘇チーム、準優勝は小国郷チーム、3位は黒流2チームとなりました。



優勝の「南阿蘇チーム」

J A阿蘇「スマイル」



営農部園芸課指導係

後藤 真智職員



入組12年目の後藤真智(38)職員。営農指導係としてアスパラガスやナスを中心に阿蘇全域を担当しています。

この12年間で多くの方に出会い、様々なことを学びました。今後「至誠」の心を持って、生産者へ接するとともに、他部署や他J Aの指導係と連携し密な情報を届けたいと、頑張っています。





**TACパワーアップ2016大会
JA阿蘇が全国表彰に輝く
「担い手」ニーズに応え
JAグループ事業に貢献」**



表彰を受ける原山寅雄組合長

平成28年11月17・18日の2日間、全国のJA担い手へ出向く営農渉外担当者「TAC担当職員研修会(大会)」が横浜市の新横浜プリンスホテルで開催されました。

大会1日目は『危機を乗り越える夢と戦略』と題して、千葉県いすみ鉄道鳥塚亮社長による基調講演が行われました。その後、TACへの取り組み活動が優秀な全国7つのJAと、先進的な取り組みを行っている「TACトップランナーズJA」の4つのJAの表彰が行われました。

JA阿蘇は「担い手を訪問し、聴き取った情報をもとに事業提案を行っているTAC活動により、担い手のニーズに応えJAグループの事業に貢献している」という功績で、原山寅雄組合長へ表彰状が授与されました。

今回の受賞にあたっては、特に農事組合法人の設立と設立後のサポート活動、新規就農者への支援を行政と関係部署と連携しながら行っていることなども高く評価されました。またマルシェや商談会への積極的な参加と、熊本地震被災地への地道な巡回なども評価に繋がりました。

← 活動報告を行う河津営農部次長
↓ TAC大会で表彰されたJA、関係者



**『ふるさと大好き』=南阿蘇鉄道
全線復旧に向けてラッピング列車運行中**



平成28年4月16日未明に発生した熊本地震本震により、甚大な被害を受けた南阿蘇鉄道では全線復旧に向けた取り組みがなされている。

雄大な阿蘇を満喫できる車窓、地元住民の移動手段として欠かせなかった同鉄道だが、現在復旧している区間は全線17.7kmに対して7km。

同鉄道の停車駅は大半が無人駅だが、特徴のある駅舎が多い。日本一長い駅名の駅、カフェのある駅など訪れる観光客を楽しませてくれる。

そのような観光客や鉄道ファンをさらに楽しませてくれるイベント「南阿蘇鉄道復活祭」が11月27日に開催された。同日、披露されたラッピング列車「ONEPIECE」を一目見ようと多くの観光客や地元住民が高森駅を訪れ、一日も早い全線復旧を願った。

ラッピング列車の運行は土・日・祝日は3往復、平日は1往復となっており、くま川鉄道との共同スタンプラリーも実施されている。(後藤真智)

事例発表では『熊本地震復興への取り組み報告』を熊本県中央会・連合会が行い、引き続き、JA阿蘇の取り組み事例をTAC管理者である河津浩営農部次長が行いました。

河津次長は熊本地震の震災に対して全国から支援が寄せられたことにお礼を述べた後、『JA阿蘇のTAC活動報告』と題して発表をしました。

大会2日目は、TAC事例発表が5会場で行われ、その後「事業継承」や「6次産業化」など6つのテーマで分科会が開催されました。



写真=ラッピング列車「ONEPIECE」



JAのごども共済

ごども共済
すてっぴ

ご契約例

ごども共済学資金型

22歳満期 / 18歳払込終了

・18歳学資金支払開始

契約者：30歳男性

被共済者：0歳男性

払込経路：口座振替扱い

主契約：共済金額 200万円

共済掛金（年払い）97,760円

給付率

約113.6%

(給付総額 ÷ 払込共済掛金総額)

左記契約例の場合です。給付率は、契約内容により異なります。

払込共済掛金総額

1,759,680円

給付総額

2,000,000円

充実の貯蓄と保障のバランス!ごどものための共済です。

ポイント1

貯蓄性が高いので、
お子さまの
教育資金づくりに
ぴったり!

ポイント2

学資金が必要な
時期(大学入学)までに
掛金の払い込みが
終わります!

ポイント3

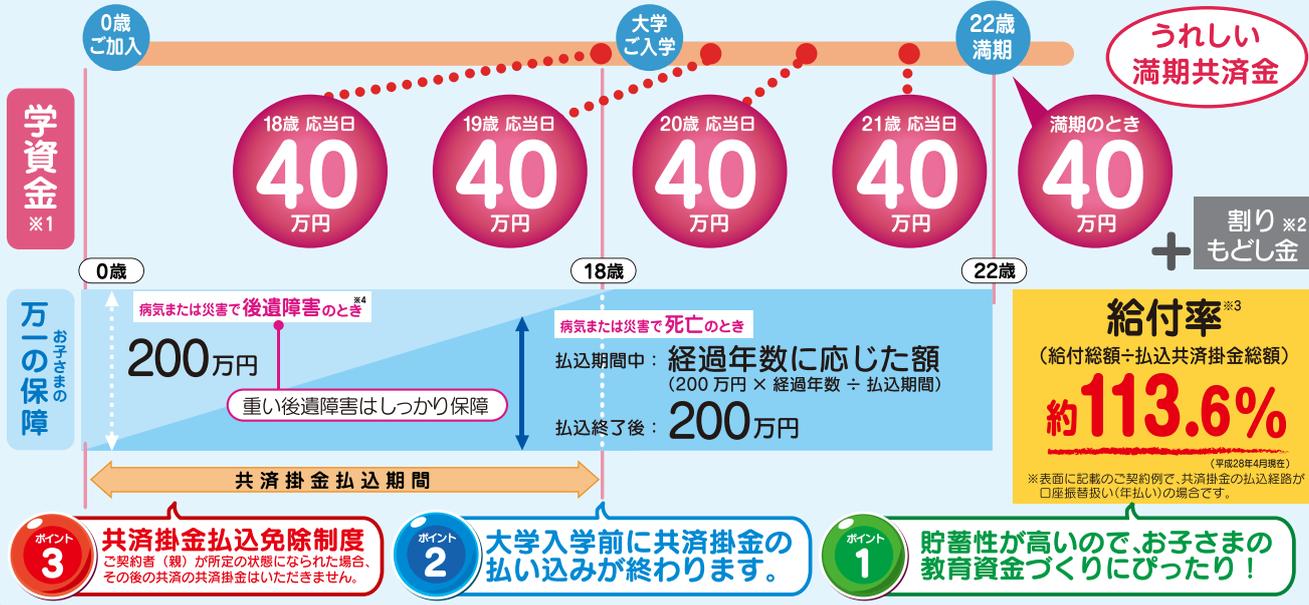
ご契約者(親)に
もしものことが
あった場合も、
お子さまの成長を
支えます!

詳しくは13P

こども共済
すてっぴ

熊本のお子さまの大きな夢とかがやく未来を応援します。

表面の契約例におけるイメージは以下のとおりです。



大学の費用はどれくらいかかるの?

下宿した場合の大学の教育費



※万円未満を切り捨てて記載しているため、各項目の合計値は一致しません。
(株)セールス手帖社保険FPS研究所「ライフプランデータ集2015年版」をもとにJA共済連試算

共済掛金表(一部抜粋) (平成28年4月現在)

ご加入できるお子さまの年齢は0歳～12歳です。(単位:円)

お父さまがご契約者の場合

お子さまの加入年齢	契約者年齢	17歳払込終了				18歳払込終了			
		年払掛金	払込共済掛金総額	給付総額	給付率	年払掛金	払込共済掛金総額	給付総額	給付率
0歳	20歳	103,676	1,762,492	2,000,000	113.4%	97,476	1,754,568	2,000,000	113.9%
	30歳	103,940	1,766,980		113.1%	97,760	1,759,680		113.6%
	40歳	105,034	1,785,578		112.0%	98,900	1,780,200		112.3%
	50歳	107,996	1,835,932		108.9%	101,948	1,835,064		108.9%
	60歳	115,498	1,963,466		101.8%	109,780	1,976,040		101.2%

お母さまがご契約者の場合

お子さまの加入年齢	契約者年齢	17歳払込終了				18歳払込終了			
		年払掛金	払込共済掛金総額	給付総額	給付率	年払掛金	払込共済掛金総額	給付総額	給付率
0歳	20歳	103,282	1,755,794	2,000,000	113.9%	97,082	1,747,476	2,000,000	114.4%
	30歳	103,458	1,758,786		113.7%	97,266	1,750,788		114.2%
	40歳	103,978	1,767,626		113.1%	97,804	1,760,472		113.6%
	50歳	105,184	1,788,128		111.8%	99,044	1,782,792		112.1%
	60歳	108,520	1,844,840		108.4%	102,582	1,846,476		108.3%

注 給付率は、給付総額(共済金額)÷払込共済掛金総額にて算出されたものです。
 ※1 学資金は、18歳学資金支払開始の場合、18歳、19歳、20歳、21歳の誕生日以後初めて到来する契約応当日にお子さまが生存されているときにお受け取りになります。よって、お子さまの大学入学に間に合わないことがあります。契約の申込みの際は、お子さまの誕生日と契約日にご留意のうえ、学資金支払開始年齢(17歳)または(18歳)をお選びください。なお、学資金支払開始年齢は、払込終了年齢と同じ年齢となります。
 ※2 割りもとし金は、ご契約後3年目から発生し、ご契約中いつでもお引出しになります。ただし、割りもとし金の額は年度ごとに変動し、経済情勢などによっては0となる年度もあります。
 ※3 給付率は、ご契約者・お子さまの契約日の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。
 ※4 「後遺障害のとき」とは、所定の第1級後遺障害の状態・所定の重度要介護状態のいずれかに該当する場合のことです。

お問い合わせ先

一の宮中央支所・波野支所・産山支所・阿蘇町中央支所・小国郷中央支所
蘇陽中央支所・高森中央支所・阿蘇南中央支所・西原支所



(16439990027)

注:この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

「JA阿蘇きらり」



阿蘇南中央支所購買課久木野給油所係

いまむら ゆうき
今村 祐輝

★趣味=映画鑑賞・子守

★一言コメント=よく髪型でゲス、ゲスと言われますが、私は仕事にも家庭にも一筋で頑張っています。(笑)
 これからも仕事に趣味に頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



小国郷中央支所共済課

うちだ ゆうき
内田 悠喜

★趣味=ドライブ

★一言コメント=健康に気を付けたい。また、普段の車の運転もスピードなどに気を付けていきたいです。

JA阿蘇イラスト違い探し「お正月」

(出題:イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!



※答えは15ページにあります。

理事会・監事会報告

■第6回臨時総代会

日時 平成28年10月20日午前10時

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 出席人員報告
4. 議長選任(書記指名)
5. 議事 第6回臨時総代会提出議案
【第1号議案】固定資産取得について

平成28年度熊本地震被災施設整備等対策事業(強い農業づくり交付金)

1. 事業内容 被災産地の競争力強化
2. 事業量 阿蘇町CE貯蔵施設の補修・修繕
 - ・CE建屋1,095.8㎡
 - ・サイロ施設282.6㎡
 - ・湿式集塵処理施設装置
 - ・サイロ貯蔵施設
3. 事業実施主体 阿蘇農業協同組合
4. 設置場所 阿蘇市狩尾85-1
5. 事業費 343,738,000円(消費税別)(うち補助金)206,242,000円
付帯決議 本日の決議事項中、軽微な事項の変更、修正及び誤算、誤字の訂正並びに法令、その他行政庁の指示による必要な修正加除は、これを理事会に一任するものとする。
6. 閉会

■平成28年度第10回理事会

日時 平成28年10月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
委員会報告(金融共済専門委員会)
平成28年度上半期決算実績報告について
 - 1)平成28年度全国監査機構期中改善指示書に対する回答書について(案)
 - 2)平成28年熊本地震災害被災者に対するローン金利の期間延長について(案)
 - 3)JA阿蘇職員厚生資金の利率の変更について(案)
 - 4)平成28年度余裕金下期運用計画について(案)

報告事項

- 1)平成28年度熊本県常例検査日程について
 - 2)組合員の加入及び脱退の状況について
 - 3)平成28年度内部監査実施状況報告書(平成28年7月～9月)について
 - 4)平成28年度JA阿蘇不祥事未然防止のための行動計画
28年9月末進捗状況について
 - 5)顧客属性照会システム(CCS)の定期確認について
 - 6)事務ミス等の発生状況について
 - 7)平成28年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
進捗状況(平成28年9月末)について
 - 8)平成28年度産米概算金試算表について
 - 9)平成28年度熊本地震共済金支払実績について
 - 10)平成28年度土・日事故受付状況について
 - 11)台風18号被害状況について
 - 12)阿蘇山噴火被害状況について
 - 13)不祥事再発防止策取組状況報告書(28年9月末)報告について
 - 14)平成28年度産米集荷状況について
 - 15)平成28年度余裕金運用状況について
 - 16)米直販取引について
4. 閉会

■平成28年度第11回理事会

日時 平成28年11月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会・総務専門委員会)

10月末実績報告について

- 1)JA阿蘇中部地区支所再編について(案)
- 2)個人ネットバンクの利用促進に向けた月額手数料の無償化について(案)
- 3)貸付金について
- 4)職員年末賞与について
- 5)平成28年度「攻めの園芸生産対策事業(アスパラ計量結束機)」導入及び固定資産取得委員の選任について(案)

報告事項

- 1)ATMの利用状況について
- 2)泉域ローンセンター媒介業務実績(四半期実績報告)について
- 3)平成28年熊本地震災害復旧における固定資産整備状況について
- 4)平成28年熊本地震における損害割合構成別件数について
- 5)平成28年熊本地震に係る被災JAへの見舞金について
- 6)JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の28年9月末進捗状況について
- 7)訴訟経過について
- 8)要改善JA(不祥事点検基準)の指定の解除について(通知)

4. 閉会

●平成28年度第7回監事会

日時 平成28年10月20日(木)臨時総代会終了後

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1)平成28年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
 - 2)平成28年度上期決算監査事務手続きについて

報告事項

- ①常勤監事業務報告について(9月)
- ②常勤会議報告について(第13回、第14回)
- ③内部監査実施状況報告について(7月～9月)
- ④熊本県常例検査の監事立会について
- ⑤行事予定について

4. 閉会

●平成28年度第8回監事会

日時 平成28年11月15日(火)午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1)平成28年度上期決算監事監査とりまとめについて
 - 2)平成28年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について
 - 3)平成28年度全国監査機構期中監査回答書に対する監事の意見書について

報告事項

- ①行事予定について

4. 閉会

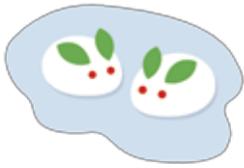
●平成28年度第9回監事会

日時 平成28年11月28日(月)理事会終了後

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議題
 - 1)平成28年度上期決算監事監査報告書(案)について
- 報告事項
- ①常勤監事業務報告について(10月)
 - ②常勤会議報告について(第15回、第16回)
4. 閉会

厚生連ニュース

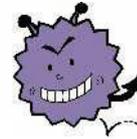


12月

インフルエンザに備えて



12月頃から流行が始まります



毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。インフルエンザの感染を広げないために、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

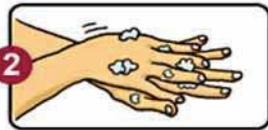
インフルエンザ予防のポイント

1. 正しい手洗い

外出先から帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手洗いしましょう。ウイルスは石けんに弱いので、次の方法で正しく石けんを使いましょう。



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのほすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

2. 普段の健康管理

十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。



3. 適度な室温を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50%~60%)を保つことも効果的です。

4. 人混みや繁華街への外出は控える

インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

5. 予防接種を受ける

予防接種(ワクチン)は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、発症しても重い症状になるのを防ぐ効果があります。ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度要することから、毎年12月中旬までにワクチン接種を受けることが望ましいです。



厚生連診療所でもインフルエンザ予防接種を受けることができます！！

熊本県厚生連診療所

所長 粟津 雄一郎

TEL: 096 (328) 1083 FAX: 096 (328) 1258